

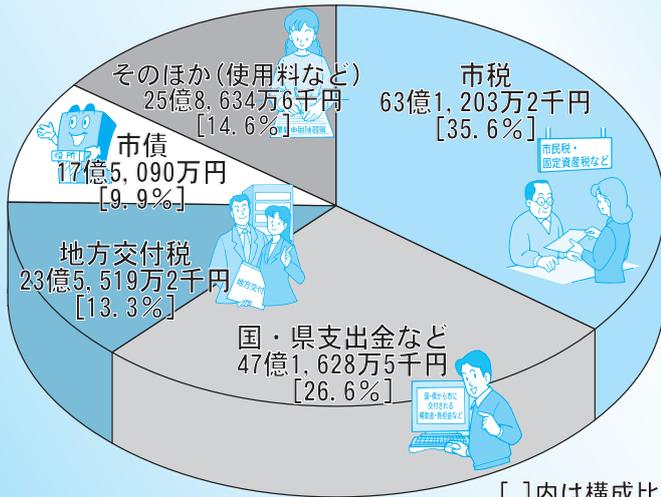
平成26年度決算

ここでは、みなさんに納めていただいた市税や国・県からの支出金などの収入を、どのように使ったのかについてお知らせします。

◆◆ 一般会計決算 ◆◆

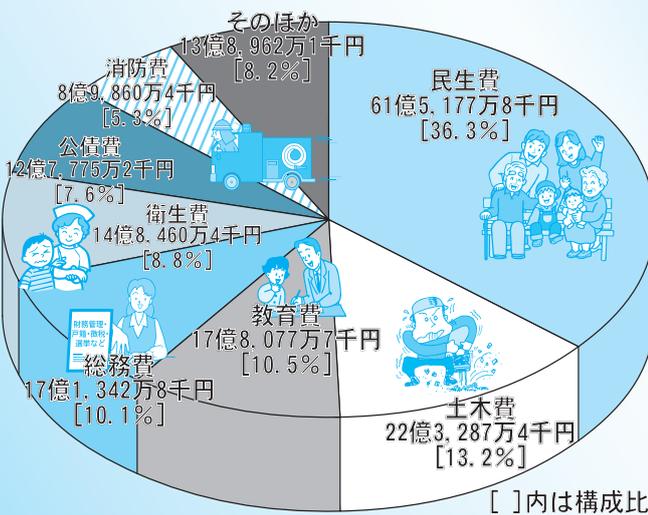
平成26年度一般会計決算額は、歳入が177億2,075万5千円、歳出が169億2,943万8千円で、単純な差引き(形式収支)は7億9,131万7千円となりました。このうち、平成27年度に行う事業に充てる繰越金4,353万4千円を除いた決算剰余金(実質収支)は7億4,778万3千円の黒字となりました。

歳入(いただいたお金) 177億2,075万5千円



▼歳入は5・9%の増加
法人市民税の微増はあったものの、個人市民税や市たばこ税が減少したため市税は減少していますが、臨時福祉給付金、圏央道関連事業負担金などに対する国庫支出金のほか、地方交付税、平成25年度からの繰越金、市債(借入金)などの増加により、歳入全体は増加となりました。

歳出(使ったお金) 169億2,943万8千円



▼歳出は9・7%の増加
日本保健医療大学への補助や防災行政無線更新工事の終了により、総務費、消防費は減少したものの、障害者自立支援給付費や幸手駅周辺整備事業費、圏央道関連事業費、小・中学校大規模改修事業費などにより、民生費、土木費、教育費が増加したため、歳出全体は増加となりました。

議決結果について
一般会計決算については、議会の審議の結果、不認定となりました。
決算の内容に影響はありませんが、審議結果を真摯に受け止め、今後も健全な財政運営に取り組んでいきます。

市民1人あたりは？

1人あたりの市税負担額は？
119,097円(A)

1人あたりに使ったお金は？
319,429円(B)

(A)と(B)の差額200,332円は、国・県支出金、使用料、市債などで賄っています。

たとえば、

民生費に	土木費に	教育費に
116,073円	42,130円	33,600円

(平成27年3月31日現在人口52,999人)

問合せ

一般・特別会計については
財政課

☎(43)1111 内線252

FAX(43)3783

水道事業会計については
水道管理課

☎(48)0050

FAX(48)0120

市税の状況

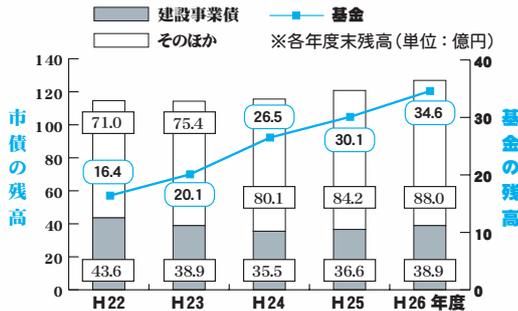
歳入では、みなさんに納めていただいた市税(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)が、歳入全体の35・6%と、大きな割合を占める大切な財源となっています。

このうち、都市計画税は市街化区域内の土地や家屋に課税しているもので、主に下水道整備事業に充てています。引き続き、大切に使用させていただきます。

市債と基金の状況

市では、次世代への負担の先送りとならないよう、市債(借入金)の発行を抑制しています。また、平成26年度から始動した大規模事業(幸手駅周辺整備事業、圏央道関連事業、道路・橋・公園などの公共施設老朽化対策など)の本格的な実施に備え、基金(災害復旧や大規模事業などのための貯金)への積立てを積極的に進めています。

一般会計の市債・基金残高の推移



特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	76億6,201万9千円	72億619万3千円
後期高齢者医療	4億7,041万5千円	4億6,536万2千円
介護保険	30億9,500万3千円	29億2,451万7千円
農業集落排水事業	3,220万2千円	3,007万3千円
公共下水道事業	12億8,172万7千円	12億3,477万2千円
水道事業	収入	支出
収益的収支	11億9,263万4千円	10億3,793万6千円
資本的収支	2億8,904万4千円	6億6,946万4千円

※資本的収入と資本的支出の差額については、企業内部に留保された資金(内部留保資金)により補てんしました。

健全化判断比率をお知らせします

～比率はすべて基準を下回っています～

健全化判断比率は、市の財政の健全度を判断するもので、それぞれ判断基準である早期健全化基準(〔〕内に表示)などが設けられています。早期健全化基準はいわゆる「イエローカード」で、これを上回ると早期健全化団体と位置付けられます。

実質赤字比率 -% [13.36%]

一般会計の赤字が一般会計の収入に比べ、どの程度かを表すもの。赤字ではないため、該当なし「-」としています。

連結実質赤字比率 -% [18.36%]

市のすべての会計を合算した場合の赤字の程度を表すもの。赤字ではないため、該当なし「-」としています。

実質公債費比率 4.7% [25.00%]

市債の返済額などの程度を表すもの。

将来負担比率 13.7% [350.00%]

今後返済する市債の残高など、将来支払う負債の程度を表すもの。

一般会計の主な事業と決算額

民生費(福祉に関する経費)

生活保護費の支給	11億6,857万円
障がい者への自立支援費の支給	7億3,272万円
臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の支給	1億5,604万円
子ども医療費の支給	1億4,991万円

土木費(道路や橋、公園などに関する経費)

公共下水道事業特別会計への繰出	4億9,735万円
圏央道関連事業(産業団地整備を含む)	7億610万円
幸手駅周辺整備事業	1億6,717万円
河川・排水ポンプ場整備事業	1億5,749万円

教育費(教育に関する経費)

小・中学校の改修(上高野小・幸手中)	2億6,005万円
長倉小学校の校舎増築	1億4,124万円
私立幼稚園の保育料等軽減に係る補助	1億71万円
学校給食費に係る補助	2,160万円

総務費(市有財産の管理、交通安全対策などに関する経費)

旧香日向小学校の改修(図書館香日向分館など)	2,403万円
道路照明灯の点検・修繕	1,067万円

衛生費(保健やごみ処理に関する経費)

ごみ処理やりサイクルの推進	6億2,609万円
し尿処理施設基幹的設備改良事業	3億2,979万円
各種検診、予防接種の実施	1億3,521万円

消防費(消防、救急、防災・災害などに関する経費)

埼玉東部消防組合への負担金	8億1,502万円
防災・災害対策事業	4,535万円

その他(基金への積立)

子育て応援基金への積立	3億円
財政調整基金などへの積立	6億3,765万円

ここでは、平成26年度に実施した事業の一部を紹介しています。詳細については、「決算書」「主要施策成果表」をご覧ください。

市ホームページ(<http://www.city.satte.lg.jp/>)のほか、市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館で公開しています。